

日 時：平成 26 年 10 月 20 日（月）18 時 30 分 ～19 時 50 分

場 所：荒田農業研修センター

対象町会：荒田

参加人数：18 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○道路の新設または舗装・拡幅について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>毎年度要望していることだが、柏農高校前駅裏からつがるロマン街道までの農道（約 700m）が狭く、車が対向できない。毎年砂利を敷いているが道路が高くなり、道幅が狭くなる。また、砂利が水路へ落ち、草刈りの時に邪魔になっている。</p> <p>つがるロマン街道がカントリーへの近道となっており、新屋方面から行く場合にも近い。バイオマス発電事業もあるのでその道路を整備すれば便利になると思う。杉館方面から柏木農業高校（以下柏農）へ自転車で通学している生徒にとっても便利だし、防災の面でも近道ができる。色々な面で有効活用されるのではないか。</p> <p>ぜひ道路を新設してほしい。それがダメなら舗装・拡幅してほしい。</p> <p>行政委員連絡会議では、今まで「長期総合プランで検討する」という回答だが、具体的に何年後という目途を示してほしい。</p> <p>荒田町会が約 20 年前から要望している。なんとか実現してほしい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ H27 年度の要望にも出されていた。まずは現場を確認する。道路を新設するとなれば用地買収が必要となる。以前から要望していたのであれば、今までの経緯があると思うので確認する。H27 年度要望に関しては、11 月の行政委員連絡会議で回答予定である。</li><li>・ 担当課から予算要求があったが、財政査定でカットされた。</li><li>・ 以前、議会でカントリーができたのでその道路が近道になると一般質問があった。その際、どのような経路でカントリーへ行っているか調査すると回答し、昨年度調査をした。カントリー付近のコンビニがある交差点の交通量が激しく危険だというのであれば、今後長期総合計画で検討していきたい。ご理解願いたい。</li><li>・ カーブが多く道路が高くなっており危険なので、拡幅をするかまったく新しい道路を通すかどちらかだろう。担当課の意見としては、現状のまま舗装するとなれば、カーブが多く危険なのでガードレールが必要とのことであった。もし整備するのであれば、拡幅し安全な設計とすべきだと思うが、通行する方がどの位いらっしゃるのか、その必要性があるのかが問題である。</li></ul> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>舗装されまっすぐな道路となれば、交通量は増える。調査の結果は現在ある道路のみを</p>

対象としている。

金屋方面の人は小和森の100円コーナーがあるハウスの所へ抜け、小和森町会のはずれからカントリーへつながる舗装されている道路を利用しているようだ。その道は一部狭い所もあり2t車が対向するのは危険なため、行き帰りを違うルートにして利用しているようだ。

カントリーにこだわらず、防災の面でも消防車が杉館方面へ行く時等は便利になるので、考えてほしい。現状のまま舗装しても、カーブが多いため、かえって運転者が気を付けるようになるのではないか。

(市の回答)

- ・一般質問は、コンビニのある交差点が混雑し大変になるので、荒田方面からバイパスのような物を作れば、カントリーへの道路混雑が緩和されるという内容だった。そのため調査したら、混雑というほどでもなく、カントリーの荷受けも日数を分けているようだった。いずれにしても、通学等のこともあるので必要性を調べ検討したい。

(市民からの要望・質問)

引座川の土手の脇を通ることになるので、高低差が約10mあり危険である。舗装しても所有者は草刈りが必要である。高低差があれば法面の面積も多くなるので、道路を作る際は金額の問題もあるだろうが、そのことも考えてほしい。

(市の回答)

- ・個人の土地なので、草刈りは所有者にお願いしたい。

○水路について

(市民からの要望・質問)

去年も要望しているが、小和森から荒田へ向かう道路右側に水路があり、道路との高低差は2m位である。自転車や歩行者は、大型トラックの風圧で危険である。実際に水路へ落ちた方もいるので、道路を拡幅し水路へ蓋をできないか。

(市の回答)

- ・新屋町からも歩道をつけてほしいと要望があった。安全対策として考えるのであれば、側溝に蓋をするよりもガードレールの方がいいのではないか。

(市民からの要望・質問)

まっすぐの側溝ではなく盛り土をしているので、ガードレールは難しいと思う。側溝が入っている所と入っていない所がある。

その水路に荒田の水がすべて流れる。平田森方面からの水もすべてそこへ流れ、引座川へ流れるようになっている。

(市の回答)

- ・ H27 年度の要望箇所なので現場確認したい。小和森方面から柏農へ自転車で通う生徒も多いのか。
- ・ 柏農生は荒田へ入る手前の農道を近道として利用しているようだ。

(市民からの要望・質問)

その道は「舗装しても生徒は使わない」となかなか舗装しなかったが、いざ舗装してみるとかなり使われている。

(市の回答)

- ・ 子どもたちの安全対策を重視していかなければならないが、他町会からもさまざまな要望が出ているので検討し、優先順位を確認したい。まずは現場確認する。

○水道管補修に係る道路工事について

(市民からの要望・質問)

6、7月頃、2回ほど水道管（配水管）が壊れた。水道管の補修はしたが、道路が盛り上がり、このままであれば除雪は大変だろう。緊急だったので仮補修だと思うが、持ち上げられたまま舗装したので、道路が盛り上がっている。直してもらいたい。

(市の回答)

- ・ 自然転圧で盛り上がった箇所が下がるのを待っている可能性がある。
- ・ 現場確認し、危険であれば直させる。

○道路に設置された表示灯（回転灯）について

(市民からの要望・質問)

カントリーの向かい側に小和森へ行く道路があるが、その角に赤いライトの回転灯がある。小さくて見づらいし暗い。もう少しわかりやすいものに直してほしい。

ここを曲がれば小和森だとわかるような道路標識でもいいのではないか。

(市の回答)

- ・ 市役所で設置したものか不明なので確認する。

○市議会について

(市民からの要望・質問)

議員報酬削減案が、なぜ無記名投票だったのか。発言内容はわかるのか。報酬も自分たちで決めるのか。

(市の回答)

- ・議員報酬削減案の投票については、議員が自分たちで決めるので関与できない。あくまでも議員の判断となる。
- ・会議録を見れば発言内容はわかる。今後公開されるだろう。
- ・報酬については報酬審議会があるので、そこで決定される。
- ・議員報酬削減案は、議員から5年間報酬を23%削減するという発議が出たが、議会の中で無記名投票した結果、賛成少数で否決された。

○あおもり10市大祭典について

(市民からの要望・質問)

先月、弘前市であおもり10市大祭典が開催された。ステージ発表では平川市から参加団体があったが、メインイベントのパレードには参加していない。そこだけ見れば、10市大祭典としていても9市である。今後もパレードには参加しないのか。

平川市で南九州市にねぶたを持っていった。南九州市のねぶた祭りには、何万人と集まっている。南九州市から逆に何かもってこられないか。友好親善都市の物を取り入れ、平川市の特徴を出せないか。

ゆるキャラや花嵐桜組を組み合わせ、パレードさせるのはどうか。伝統芸能だけでなく最近のものを取り入れればよい。

(市の回答)

- ・あおもり10市大祭典は今年で3回目となり、一昨年は青森市、去年は八戸市、今年は弘前市で開催された。来年はむつ市の予定である。
- ・それぞれの地域で特徴のある物をパレードに出している。平川市は、弘前市とねぶたが重複するので今まで参加していなかった。ただ、前ねぶたや踊りに特徴がある団体であれば、パレードでアピールできるので重複してもいいのではないかという話も出ている。
- ・平川市には流し踊りがなく、碓ヶ関の神輿も担ぎ手がない。世界一のねぶたも運べず苦慮している。
- ・南九州市のねぶたは、あちらで作っている。ねぶた祭りは一晩だけだが、九州全域から4万人位が集まり大盛況だった。
- ・南九州市にどのような郷土芸能があるかは調べてみる。

○コミュニティ育成奨励金について

(市民からの要望・質問)

町会費が高く、一昨年まで18,000円、今は15,000円である。集会所から公衆電話を外す等辛抱している。コミュニティ育成事業奨励金をもらい、助かっている。柏農生もいるので街灯を増やしたいが、電気料がかかるので断念している。LED設置のことも聞いているが、コミュニティ育成奨励金をなくさないでほしい。

戸数が少ない(町会費を負担しているのは54戸)分、集会所維持費の負担が多い。LED

になっても町会負担はあるのか？合併前、町会ではなく役場が負担していた所があったのではないか。

(市の回答)

- ・コミュニティ育成奨励金は継続するが、中味は見直し上乗せする等している。小さい町会は町会費の負担が多く厳しいと思うが、東部地区は町会費が4万円位だと聞いた。地域で助け合っていくためにもコミュニティ育成奨励金を活用し、地域づくりをしてもらいたい。
- ・街灯は今年度約4,000か所を調査し、来年度市内全部をLEDにする予定である。LEDにすれば明るくなるので、街灯の間隔があいてもカバーできるのではないか。取り替える手間も抑えられ、電気料も減る。
- ・町会と町会の中の防犯灯は市の負担。町会の中の街灯は町会負担である。行政委員連絡会議で、街灯の電気料が高いので市で負担してほしいという意見があったが、LEDにすることによって電気料も下がり、取り替える手間が減り、しかも明るくなる。
- ・旧碓ヶ関村は町会ではなく村ですべて負担していたようだが、町会で負担してもらう箇所を整理した経緯がある。

○上水道・下水道料金の基本料金について

(市民からの要望・質問)

一人暮らしなので基本料金分まで使わない。下水道料金は、上水道と同じ量を使っているとして計算されているが、下水道へ流さず、花へ水をやる場合でも同じ計算方法になるのか。

弘前市に住んでいた時に比べ倍近い料金である。上水道も下水道も同じ量を使っているとして計算する意味がわからない。

年金暮らしには大変である。一人暮らしが今後増えるので負担を軽減してもらいたい。

(市の回答)

- ・下水道の料金設定は、下水道へすべて流れるとして計算しているわけではない。洗車や花の水やり等の量を勘案して料金設定している。
- ・上水道がない場合は、人数や風呂の有無を加算して下水道料金を決めるが、だいたい上・下水道同じ量になる。
- ・弘前市はおそらく基本料金は安いですが、多く使えば高くなるという計算方法だと思う。加算料金が違うので、基本料金分に満たないのであれば、たしかに平川市の方が高くなる。
- ・算定量が同じなので、上水道の使用量を基準とし下水道の使用量に跳ね返っていく。
- ・別途、上下水道課より連絡させる。

○防災無線について

(市民からの要望・質問)

防災無線が聞こえない。集会所の角にあるので柏農ではよく聞こえるが、町会の方へは聞こえない。夏に窓を開けていても、外へ出なければ聞こえない。

スピーカーは柏農高校前駅の所にもう1か所つける予定である。スピーカーの向きを変更することはできるのか。

(市の回答)

- ・方向は調整可能なので、担当に連絡させるようにする。
- ・今年度、尾上・碓ヶ関地域で調査する。防災無線に関して他町会からも意見が出ている。

○碓ヶ関湯ノ沢地区の廃業した温泉について

(市民からの要望・質問)

碓ヶ関に廃業した温泉が3か所あるが、屋根が落ち、湯が吹き上がっている。温泉を何かに使えないか。

宮城県の温泉場では、3か所1,000円で入浴ツアーをしている所もある。旧羽州街道の所に事務所を置いて料金を支払い、個人で3か所をめぐるようにならないか。湯量が多く、出っ放しでもったいない。お金が流れているのと同じである。

整備するとなれば費用はかかるが、3か所それぞれに異なる湯があり、もったいないと思う。

(市の回答)

- ・非常にもったいない話だが、権利が個人の物である。昔は湯治客がいたが、今は使われなくなったので廃業したようだ。そこへ市で新しく建物を建てるのは無理である。
- ・たけのこ温泉等管理を考えなければならない施設が多い。

○除排雪に対する補助金について

(市民からの要望・質問)

マイロード・マイタウン事業のように、細い道路を除排雪している町会に予算をつけられないか。柏農があるので大通りは排雪されているが、町会の中はされていない。

去年の雪対策モデル事業は、屋根から下した雪を排雪する場合のみ対象だった。屋根に上がる人がいないため大変だった。

去年、雪対策モデル事業をやる前にアンケートを取ったので、高齢者や一人暮らしの除雪を町会で行っているのに対して援助してもらえないかと書いた。しかし、雪対策モデル事業が始まったら、考えていたものと違う内容だった。

(市の回答)

- ・去年は雪が少なくモデルにならなかったようだ。5町会が参加し、一人暮らしや高齢者の方の排雪等を行った。1回5,000円で1軒につき2回までとし、1町会5軒分を予定していた。それにスコップ隊等の費用も含めて、町会の大きさに関わらず73,000円の

予算を見ていた。

- ・今年も行う予定である。屋根の雪下ろしの需要がなかったので、今回は単純に排雪を対象にしている。もし、やってみてよければ、やり方を考えながら対象を増やしていきたい。後日、町会長あてに通知する。
- ・排雪のトラックがない場合は、社協にダンプ型の軽トラックが1台あるので活用してほしい。
- ・高齢者や一人暮らしの方等の除雪に対して、油代等の補助を考えていきたい。コミュニティ育成奨励金は、今まで町会の戸数で金額を決めていた。それに除雪の補助を付加することを考えたい。
- ・今後、高齢者が増えていくので、コミュニティの中でお互い助け合うことが必要となる。それに対しての支援は必要だと思う。

○緊急速報メールについて

(市民からの要望・質問)

携帯電話にエリアメールで平川市から緊急速報のメールが2回ほど届いたが、どのような時に送信したものか。送信対象は。

(市の回答)

- ・8月30日に日沼地区を主会場にし、防災訓練を行った。その際、訓練の一環としてエリアメールを配信した。メールを開けば訓練と書かれていたかと思う。水害や地震等大きな災害があった場合、エリアメールで市民の方へお知らせするという訓練である。
- ・機種にもよるが、平川市内の方と弘前市の近郊の方で携帯電話をお持ちのすべての方を対象に、登録していなくても自動的に配信している。
- ・防災訓練を行うこと、エリアメールを配信することを事前に広報に掲載したが、ご覧になっておらず、驚いた方もいるかもしれない。